

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただき
ありがとうございました。

保管用

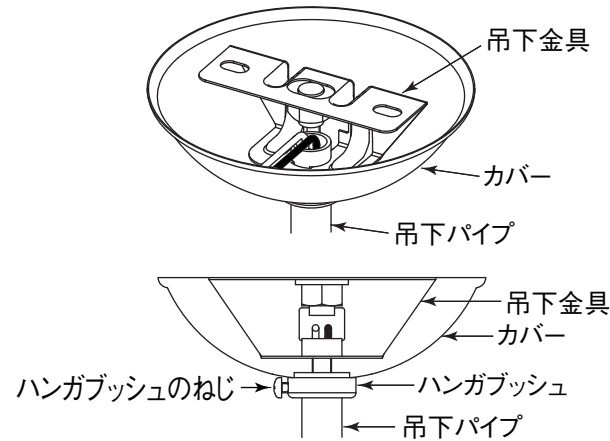
8 カバーを取付ける

カバー、ハンガブッシュを天井面に押し当て、ハンガブッシュのねじを締め固定する。
(推奨締付けトルク 0.3 ~ 0.4 N・m)
・カバーの位置調整はハンガブッシュを移動させて、ハンガブッシュのねじを締め調整する。



警告

カバーを確実に取付ける。
(不完全な取付けは落下の原因)



お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

安全のために必ずお守りください



警告



禁止

お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(感電・火災の原因)
器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(落下・感電・火災の原因)



厳守

器具の清掃は電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(感電・火災の原因)



注意



禁止

点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)



厳守

明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

・照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。

・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発火・感電・落下などに至る場合があります。

器具の清掃



警告

電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)



注意

点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

<器具のお手入れについて>

・器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
・台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないと、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

異常時の処置



警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(感電・火災の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買い上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

相談窓口 照明技術相談センター
0120-348-027 (無料)
受付時間 9時~17時 (土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861

お買い上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。



三菱 LED 照明器具用部品

LED 誘導灯用吊具

形名 **C152P** **C153P** **C154P**

取扱説明書

・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
・電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

・施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
・取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。



警告

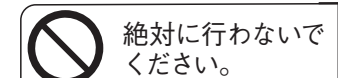
取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



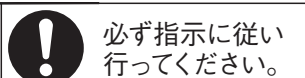
注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わないでください。



必ず指示に従ってください。



警告

高温 (35℃を超える) 高湿度 (85% RH を超える)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。(落下・感電・火災の原因)

引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)

天井取付専用吊具のため、傾斜天井、壁面への取付けはしない。(落下の原因)

適合器具以外は使用しない。(落下の原因)

直射日光の当たる場所で使用しない。(過熱による変色・変形・火災の原因)

器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(落下・感電・火災の原因)

誘導灯本体を天井取付金具に六角ナットで工具を使用し確実に取付ける。(不完全な取付けは落下の原因)

器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)

配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁不良により感電・火災の原因)

単線とより線の直接接続 (ねじり接続等) はしない。(火災の原因)

施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、取扱説明書に従って行う。(施工不備により、落下・感電・火災の原因)

器具の取付けは取扱説明書に従って行う。(不完全な取付けは、落下・感電・火災の原因)

吊具の取付けは吊具及び誘導灯本体の合計質量に耐える所に取付ける。(落下の原因)

吊下金具・吊下パイプ・器具取付金具・天井取付金具を確実に取付ける。(不完全な取付けは落下の原因)

棒端子は電源端子台の奥まで差し込む。(差し込み不十分は接続不良による発熱により火災の原因)



注意

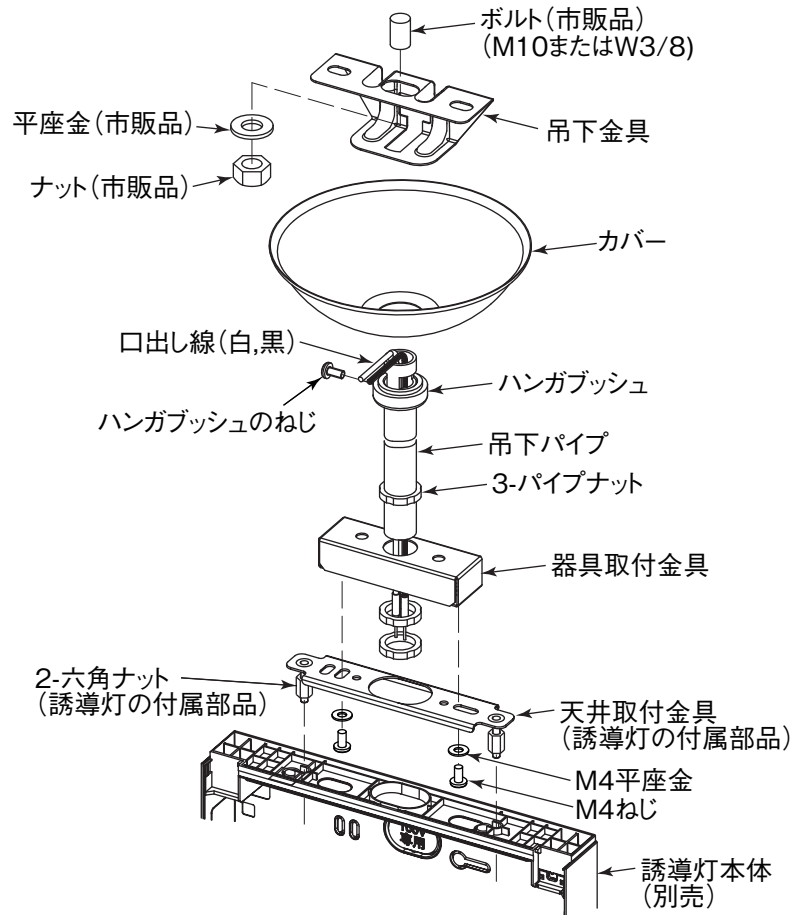
さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で使わない。(劣化による落下の原因)

器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)

風が吹く場所には使わない。(落下の原因)

工場等での特殊環境 (油類噴霧状態等) では、使わない。

各部のなまえと取付けかた



警告
吊具の取付けは取扱説明書に従い行う。
(不完全な取付けは、落下・感電・火災の原因)

部品リスト

・吊下金具	1個
・カバー	1個
・ハンガブッシュ	1個
(ハンガブッシュのねじ付)	
・吊下パイプ	1個
・器具取付金具	1個
・口出し線白(棒端子付)	1本
・口出し線黒(棒端子付)	1本
・パイプナット	3個
・M4ねじ	2本
・M4平座金	2個
・ラベル(銀色)	1個
・取説	1枚

警告
吊具の取付けは吊具及び誘導灯本体の合計質量に耐える所に取付ける。
(落下の原因)

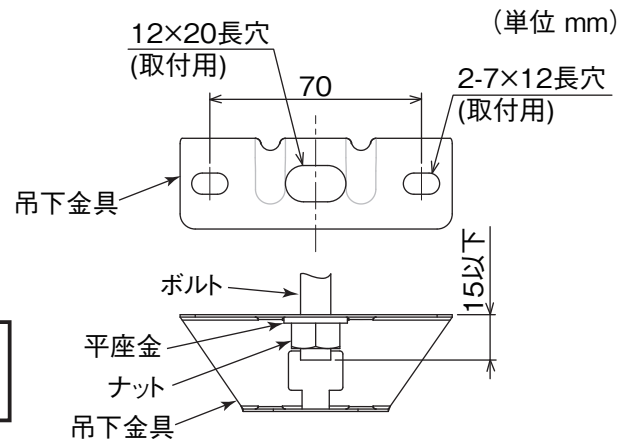
1 取付前の確認

吊具質量と誘導灯本体質量に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。ボルトは M10 または W3/8 を使用する。

2 吊下金具を取付ける

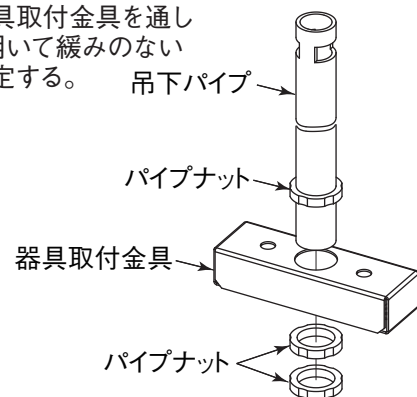
- ・吊下金具の取付穴 (12 × 20 長穴) を使用し、市販品のボルト (M10 または W3/8)、平座金、六角ナットを用いて、天井に緩みのないように確実に固定する。
- ・7 × 12 長穴 2ヶ所については適合するボルト、ねじ、座金を使用し、天井に緩みのないように確実に固定する。
- ・吊下金具内のボルト長は 15mm 以下とする。

警告 吊下金具を天井に確実に取付ける。
(落下の原因)

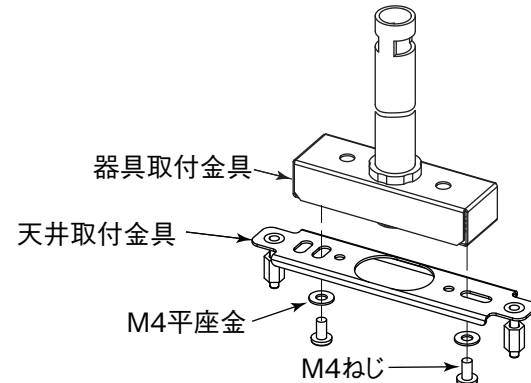


3 吊下パイプに器具取付金具・天井取付金具を取付ける

(1) 吊下パイプに器具取付金具を通しパイプナットを用いて緩みのないように確実に固定する。

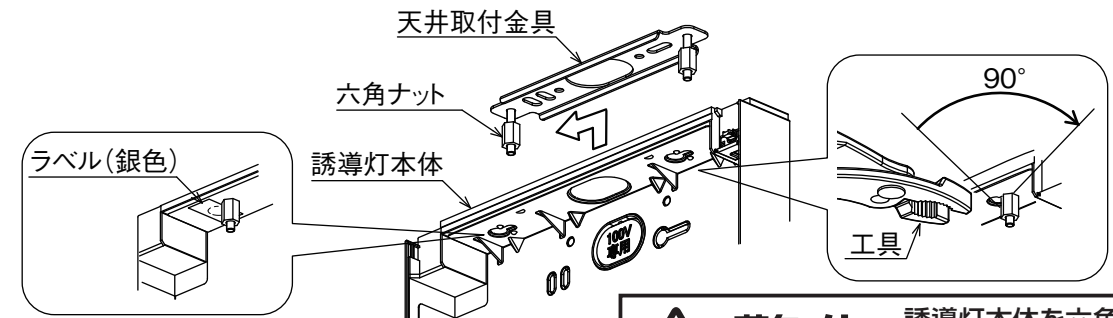


(2) 器具取付金具に M4 平座金と M4 ねじを用いて天井取付金具を確実に取付ける。



4 誘導灯本体を吊下パイプに取付ける

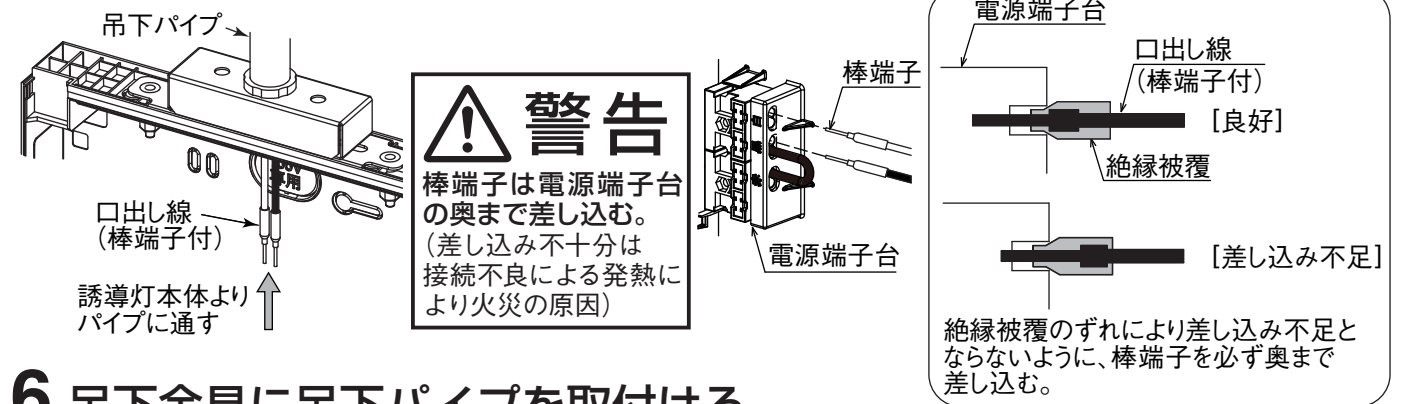
- (1) 誘導灯本体を六角ナット (2個) で天井取付金具に取付ける。必ず工具で締め付ける。六角ナットの推奨締め付トルク: 0.8 N・m (目安: 手締めでナットを確実に締め付けた後、工具にて 90° 以上回転させる。)
- (2) 対象機種については同梱のラベル (銀色) を誘導灯本体の内側から図の位置へ添付する。(向かって左側のみ) (対象機種: KSH10151(H), KSH10162(H), KSH20151(H), KSH20162(H), KSH40151(H), KSH40162(H))



警告 誘導灯本体を六角ナットで工具を使用し確実に取付ける。
(不完全な取付けは落下の原因)

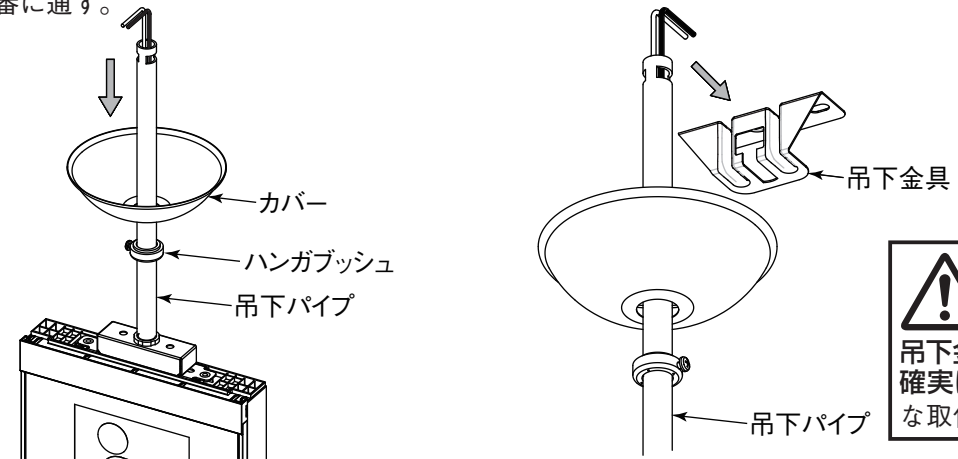
5 口出し線を電源端子台に接続する

- (1) 口出し線の棒端子付でない側を誘導灯本体より吊下パイプの中に通す。
- (2) 棒端子を誘導灯の電源端子台に接続する。



6 吊下金具に吊下パイプを取付ける

- (1) 吊下パイプにハンガブッシュ、カバーの順番に通す。
- (2) 吊下金具に吊下パイプを取付ける。



警告 吊下金具に吊下パイプを確実に取付ける。(不完全な取付けは落下の原因)

7 口出し線を電源線に接続する

電源線と口出し線を確実に接続する。

- ・高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて圧着接続子などで確実に接続する。
- ・電源線の接続部は、自己融着絶縁テープなど、絶縁被覆処理を確実に施す。

警告 口出し線を電源線に確実に接続する。
(接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因)